

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和5年度第2四半期（令和5年7月～9月期）


調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：29社 建設業：20社 小売業：42社 サービス業：59社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

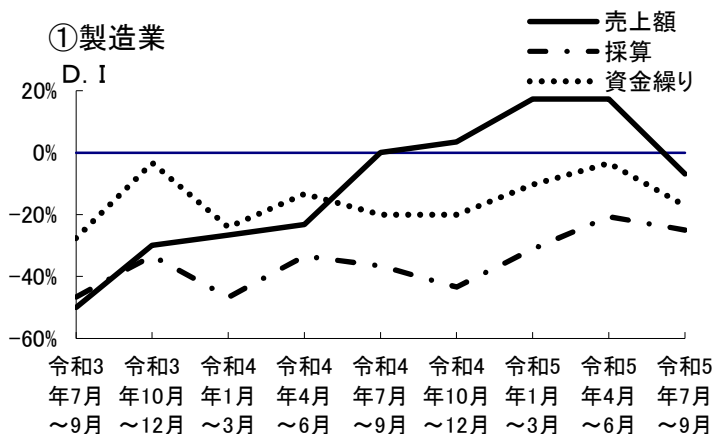
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	令和3年 7～9月期	 ▲ 43.3	 0.0	 ▲ 42.9	 ▲ 43.1	 ▲ 32.3					
令和3年 10～12月期	 ▲ 33.3	 ▲ 15.0	 ▲ 57.2	 ▲ 39.7	 ▲ 36.3						
令和4年 1～3月期	 ▲ 51.8	 ▲ 30.0	 ▲ 66.7	 ▲ 53.4	 ▲ 50.5						
令和4年 4～6月期	 ▲ 13.3	 ▲ 25.0	 ▲ 51.2	 ▲ 21.4	 ▲ 27.7						
令和4年 7～9月期	 ▲ 13.4	 ▲ 10.0	 ▲ 57.1	 ▲ 22.8	 ▲ 25.8						
令和4年 10～12月期	 ▲ 23.3	 ▲ 5.0	 ▲ 45.2	 ▲ 29.3	 ▲ 25.7						
令和5年 1～3月期	 ▲ 10.4	 ▲ 35.0	 ▲ 39.5	 ▲ 22.4	 ▲ 26.8						
令和5年 4～6月期	 0.0	 ▲ 10.0	 ▲ 41.5	 ▲ 1.7	 ▲ 13.3						
令和5年 7～9月期	 ▲ 20.7	 ▲ 10.0	 ▲ 40.5	 ▲ 5.1	 ▲ 19.1						
令和5年 10～12月期	 ▲ 24.1	 ▲ 25.0	 ▲ 42.9	 ▲ 10.2	 ▲ 25.6						

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



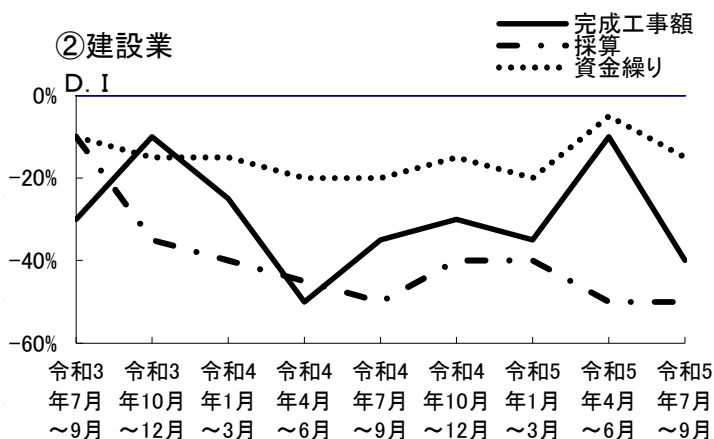
<前期比>

売上額 : 悪化 (17.3→▲6.9 ポイント)
 採算 : やや悪化 (▲20.7→▲25.0 ポイント)
 資金繰り : 悪化 (▲3.4→▲17.2 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 原材料価格の上昇 (50.0%)
- 2位: 原材料の不足、人件費の増加、原材料費・人件費以外の経費の増加、需要の停滞 (7.7%)

②建設業



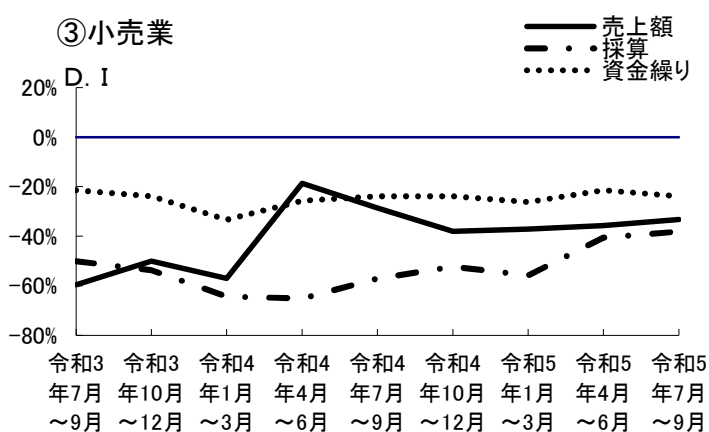
<前期比>

完成工事額 : 悪化 (▲10.0→▲40.0 ポイント)
 採算 : 横ばい (▲50.0→▲50.0 ポイント)
 資金繰り : やや悪化 (▲5.0→▲15.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 材料価格の上昇 (40.0%)
- 2位: 従業員の確保難 (20.0%)

③小売業



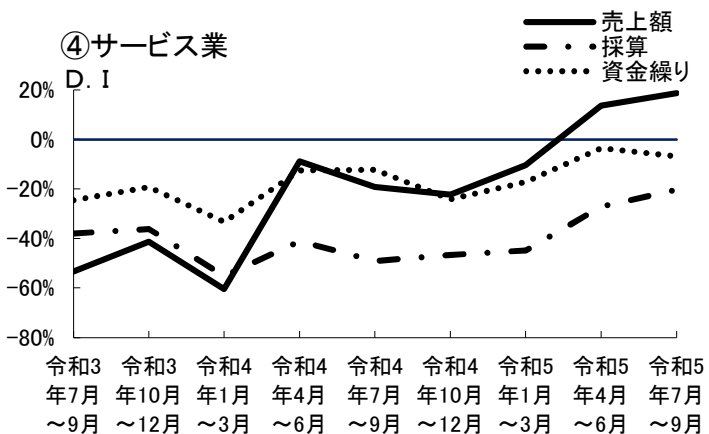
<前期比>

売上額 : やや好転 (▲35.7→▲33.3 ポイント)
 採算 : やや好転 (▲40.5→▲38.1 ポイント)
 資金繰り : やや悪化 (▲21.4→▲23.8 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 仕入単価の上昇 (34.1%)
- 2位: 大型店・中型店の進出による競争の激化 (17.1%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : やや好転 (13.6→ 18.7 ポイント)
 採算 : やや好転 (▲27.1→▲20.3 ポイント)
 資金繰り : やや悪化 (▲3.5→ ▲6.8 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

- 1位: 材料等仕入単価の上昇 (48.1%)
- 2位: 従業員の確保難 (13.0%)